

(様式)

令和5年度硬式野球部の指導方針等について

令和5年4月27日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	幸野 成希	武村 昇	石川県高校野球連盟審判資格	年に数日
副顧問	市石 学			
副顧問	福田 智之			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
明確な目的意識を持ち、自ら主体的に考え、実践する強い行動力をもって目標を達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
夏季甲子園予選大会ベスト16、秋季・春季大会本選出場を目指す
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域に貢献し、地域から応援してもらえる部活を目指し、地域清掃等、自主的に活動していく。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、平日4日・土日祝は不定休を基本とする。
休養日を設けられなかった場合は別日に振り替えるなど体調管理に務める。
- (2) 練習や試合等の計画
年間80試合以上の練習試合を計画し、技術力・精神力を高めていく。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
「凡事徹底」をスローガンに、挨拶・身嗜み・整理整頓等の徹底、感謝の気持ち、思いやりの気持ちを、野球を通して育む。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養するとともに、部員同士の自律・他律を促す。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
信頼関係を築き、スポーツ理論や技術的指導に基づき、相手を気遣い、意欲を導き、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導がない部活動を展開していく。また、保護者と共通理解を図っていく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
年間数日。審判Bの視点から指導をして頂いている。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

4 年間計画

学期	月	内容
1 学期	4 月	春季大会本戦
	5 月	山梨遠征
	6 月	部活動保護者会 選手権大会抽選
	7 月	選手権大会西東京予選 夏季合宿健康診断
	8 月	夏季合宿 青梅線カップ
2 学期	9 月	秋季大会一次予選
	10 月	秋季大会本戦
	12 月	冬季合宿
3 学期	1 月	冬トレ期間（練習試合禁止）
	2 月	
	3 月	春季大会一次予選